

伊集院保健所感染症情報

2019年第52週（令和1年12月23日～令和1年12月29日）

及び 2020年第1週（令和1年12月30日～令和2年1月5日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）
TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp
鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

定点把握感染症

1 管内定点あたり報告数

定点医療機関【インフルエンザ6, 小児科4, 基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報 基準値	伊集院保健所管内				先週からの 増減	県	
	開始	終息		第50週	第51週	第52週	第1週		第1週	前週からの 増減
インフルエンザ	30	10	10	20.00	29.17	38.00	19.50	↓	13.04	↓
RSウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.25	↗	0.08	↓
咽頭結膜熱	3	1	-	9.25	9.00	7.50	3.00	↓	1.23	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	1.75	1.25	2.25	0.25	↓	0.87	↓
感染性胃腸炎	20	12	-	2.25	5.00	4.75	2.50	↓	4.72	↓
水痘	2	1	1	0.25	0.00	0.00	0.00	→	0.21	↓
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.15	↓
伝染性紅斑	2	1	-	1.50	0.25	0.25	0.50	↗	0.42	↓
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.21	↓
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↓
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
基幹定点からの届出状況	該当なし									
インフルエンザ入院サーベイランス	該当なし									
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	百日咳1（62），2020年1W: 百日咳1（1）									

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし，注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

注意すべき感染症

○インフルエンザ 警報

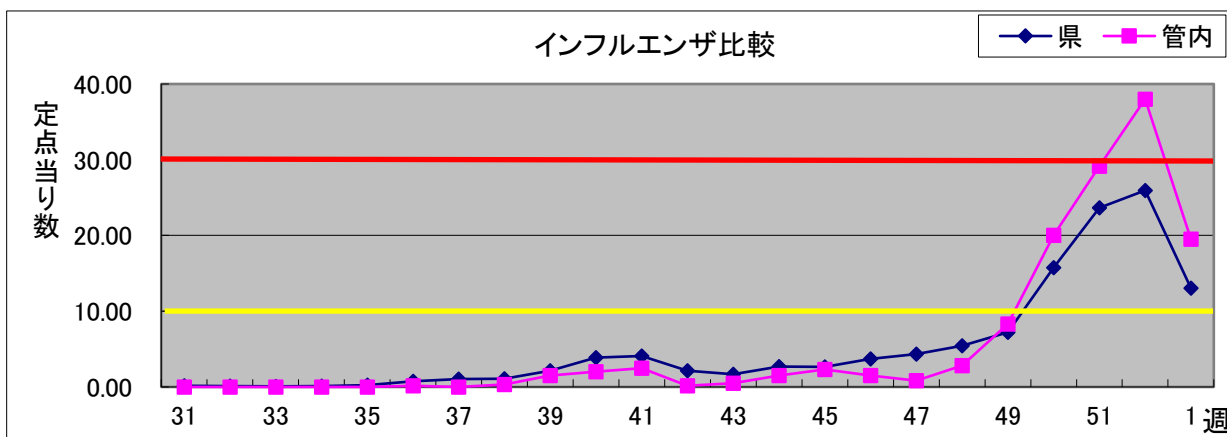
管内におけるインフルエンザの報告数は、52Wは前週175人（定点あたり29.17）よりさらに増加し、53人多い228人（38.00）で、警報基準の開始値（30）に達しました。次週の新年1Wは、111人減少し117人（19.50）でした。

52Wに警報基準を超えたため、

1月6日に「インフルエンザ流行発生警報」を発令しました。

鹿児島県全体のインフルエンザの報告数も、52Wは前週の2151人より210人多い2361人（25.95）で県全体もさらに増加しました。新年1Wは1174人減少の1187人（13.04）でした。ただし、年末年始は、医療機関が休診となったため減少したと思われます。

管内の年代別では、52W（2019年）と1W（2020年）を合わせると、10-14歳が64人（18.6%）、5歳が32人（9.3%）、4歳が31人（9.0%）の順に多く、特に幼児、小学生、中学生の年代で報告が多いですが、全ての年代から報告があり、感染が広がっています。



【インフルエンザの感染予防対策】

- ★ 咳エチケットを徹底しましょう。また、咳などをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。
- ★ 液体石けんを用いた正しい手洗いを励行しましょう。特に、外出後や咳・くしゃみを手で押さえた後、顔（眼、鼻、口の粘膜）を触る前は、手指衛生を徹底しましょう。インフルエンザウイルスにはアルコール製剤による手指衛生も効果があります。
- ★ 人混みや繁華街への外出を控えましょう。やむを得ず人混みに入る場合は、不織布のマスクを着用することも1つの防御法です。
- ★ 部屋は適度な湿度を保ちましょう。
- ★ 十分な休養とバランスのとれた栄養を摂りましょう。

新学期になり、集団生活も始まりました。今後さらに、インフルエンザの流行が拡大することが予想されます。基本的な対策を徹底し、感染防止に努めてください。具合が悪い場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

インフルエンザと診断された場合は、医師の指示を守り、自宅での安静を心がけ、自らが周囲に感染を拡げない様にする 것도大事です。

○ 咽頭結膜熱

管内における咽頭結膜熱の報告数は、52Wは30人（定点あたり7.50）、新年1Wは12人（3.00）でした。年齢別では、52W（2019年）と1W（2020年）を合わせると、2・3歳（各19.0%）、6歳（14.3%）、5歳（11.9%）の割合でした。

管内は、26週連続で、咽頭結膜熱流行発生警報継続中で、県の報告数も警報基準に達しています。6歳以下が9割を占めているため、乳幼児を預かる保育所等は要注意です。

（※訂正：先週までの警報継続週の数が誤っていました。2019年28Wから継続中です。）

